

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

10

美化啓発事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	3	魅力ある都市景観の創出
施策	2	都市緑化・都市美化の推進
取組方針	3	都市美化の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	市民生活費		
	目	まち美化推進費		
	大事業	まち美化推進事業		
	中事業	美化啓発事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	市民自治振興課	建島 彩美 435-1011
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	まちを美しくするための啓発運動等に要する諸経費		まちを美しくするための啓発運動等に要する諸経費			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		美化啓発等のテレビ、ラジオ放送委託、ポイ捨て防止条例に伴う灰皿のごみ回収等の美化啓発に関する諸経費	美化啓発等のテレビ、ラジオ放送委託、ポイ捨て防止条例に伴う灰皿のごみ回収等の美化啓発に関する諸経費	美化啓発等のテレビ、ラジオ放送委託、ポイ捨て防止条例に伴う灰皿のごみ回収等の美化啓発に関する諸経費	美化啓発等のテレビ、ラジオ放送委託、ポイ捨て防止条例に伴う灰皿のごみ回収等の美化啓発に関する諸経費	美化啓発等のテレビ、ラジオ放送委託、ポイ捨て防止条例に伴う灰皿のごみ回収等の美化啓発に関する諸経費

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	825	893	646	754	1,008	965	852	0	852	0
伸び率(%)	28.9%	32.5%	△21.7%	△15.6%	56%	28%	△15.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,913	7,680	7,708	7,785	7,857	8,015	7,386	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	7,913	7,680	7,708	7,785	7,857	8,015	7,386	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	825	893	646	754	1,008	965	852	0	852	0
所要人数(人)	正規職員	1.02	0.99	0.99	1.00	1.02	0.94	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	駐車場使用料428千円、自動車用燃料費262千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	苦情処理率(雑草)	件	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	281	166	288		
			達成度(%)	281%	166%	287%	%	%
成果指標	表彰者数(内川美化運動功労者・まちを美しくする市民運動功労者)	人	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	41	31	35		
			達成度(%)	102%	78%	87%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	テレビやラジオでの美化啓発や美化功労者への表彰などを実施し、事業としての効果があった。 雑草の苦情について、早急に対応することができた。
見直し・改善内容	空き地の不良状態が毎年繰り返すことがないよう、所有者に長期的な適正管理を促す。